



2024年8月9日

各位

会社名:フューチャーベンチャーキャピタル株式会社  
(コード:8462 東証スタンダード市場)  
代表者名:代表取締役会長兼社長 澤田 大輔  
問合せ先:財務経理部長 西田 賢一郎  
(TEL:075-257-2511)

## 前年同期の実績値(連結)との差異に関するお知らせ

2025年3月期第1四半期(自2024年4月1日至2024年6月30日)の業績(連結)につきまして、前年同期実績値との間に差異が生じたので、下記のとおりお知らせいたします。

### 記

#### 1. 2025年3月期第1四半期の業績と前年同期実績値との差異

|                    | 売上高   | 営業利益 | 経常利益 | 親会社株主に帰属する四半期純利益 | 1株当たり四半期純利益 |
|--------------------|-------|------|------|------------------|-------------|
|                    | 百万円   | 百万円  | 百万円  | 百万円              | 円 銭         |
| 2024年3月期第1四半期実績(A) | 119   | △24  | 24   | 1,140            | 128 10      |
| 2025年3月期第1四半期実績(B) | 113   | △33  | △32  | △32              | △3 86       |
| 増減額(B-A)           | △6    | △8   | △56  | △1,173           | —           |
| 増減率                | △5.5% | —    | —    | —                | —           |

#### 2. 差異が生じた理由

当第1四半期連結累計期間における経営成績は、地方創生ファンドとして、盛岡市、株式会社岩手銀行、株式会社北日本銀行、株式会社東北銀行、株式会社カガヤ建設と共同で、Tohoku ライフサイエンス・インパクト投資事業有限責任組合を設立しました。新規ファンドの設立による設立報酬や管理報酬はありましたが、当社が運営する既存ファンドのクローズにより管理報酬の額が減少したこと等により、売上高は113百万円(前年同四半期119百万円)と減収になりました。また、営業投資有価証券に係る投資損失引当金繰入額の増加等により、営業損失は33百万円(同24百万円)と減益となりました。

また、前年同期において、株式会社デジアラホールディングスの株式譲渡に伴う特別利益を計上したこと等により、親会社株主に帰属する四半期純損失は32百万円(同1,140百万円の親会社株主に帰属する四半期純利益)と減益となりました。

以上